

Title	昭和51年度基研長期研究計画「配位相転移の研究」拡大世話人会
Author(s)	
Citation	物性研究 (1976), 27(2): B1-B2
Issue Date	1976-11-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/89238">http://hdl.handle.net/2433/89238</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和 51 年度基研長期研究計画  
「配位相転移の研究」拡大世話人会

この計画の一環として7月19日から21日までの3日間、求是荘で拡大世話人会を開きました。この会の目的は研究成果の発表ではなく、本当はどんな問題に挑戦する必要があるのか、また種々のアプローチはどんな将来性と限界をもっているのか、といった議論をすることです。討論のテーマは本誌5月号(26巻2号)に掲載された昨年度の研究会報告にもありますが、

- 1) 固液転移は他の相転移とどう違うのか。
- 2) 固相の把え方の問題点は何か。
- 3) 液相の把え方の問題点は何か。
- 4) 界面・微粒子・核生成のような不均質状態、ガラス状態のような非平衡状態や準安定状態の問題、ダイナミックスの問題。
- 5) 共役結合物質や量子系の問題。
- 6) 計算機実験の課題は何か。

という問題です。

会の目的がどこまで叶えられたかは判りませんが、質疑討論の記録も掲載致します。記録をとって下さった上羽牧夫(名大理), 内藤豊昭(東大教養), 本田勝也(名工大)の諸氏に感謝致します。

また多数の参加申込みを頂き、全ての方に参加して頂くことができなかつた点、紙上を借りてお詫び申し上げます。

世話人	上	田	頤(京大工)
	小	川	泰(京大理)
	樋	渡 保	秋(金大理)
	吉	田	健(九大理)
	和	達 三	樹(東教大光研)

1.	「配位相転移」の問題点	小川 泰	3
2.	融解の理論に対する種々の見方	戸田 盛和	6
3.	物質状態の秩序について	松田 博嗣	10
4.	“ 流れる固体 ” について	上羽 牧夫	14
5.	固相への転移からみた液相のとらえ方	大川 章哉	21
6.	非晶質金属構造のモデル	二宮 敏行	27
7.	液相の不安定性	吉田 健	32
8.	金属微粒子の構造と熱振動	紀本 和男	35
9.	核生成とスピノーダル分解における問題点	横田 良助	43
10.	不活性気体の液体はガラス状態になりうるか？	樋渡 保秋	49
11.	配位相転移におけるコロイド学的手法について	蓮 精	53
12.	非平衡状態分子力学	内藤豊昭, 小野 周	61
13.	全体討論		65